第 56 回 日本子どもの本研究会全国大会

2024 年 7 月 27 日（土）・28 日（日） 国立オリンピック記念青少年総合センター

未来をひらく子どもと本
— 子どもの今を見つめ、ともに生きる明日を考える —

開会全体会 7月 27 日（土）13 時 20 分

記念講演（手話通訳つき）
ぼくの絵本づくり
—『じごくのそうべえ』『ふしぎなともだち』『なきむしせいとく』などについて —

田島征彦（たじま ゆきひこ）

1940 年大阪府堺市に生まれ、高知県で少年時代を過ごす。著作絵本は『祇園祭』（第 6 回世界絵本原画展金牌受賞）、『じごくのそうべえ』（第 1 回絵本にっぽん賞受賞）、沖縄をテーマにした『とんとんみーときじむなー』『てっぽうをもったキジムナー』『やんばるの少年』『なきむしせいとく―沖縄戦にまきこまれた少年』（第 54 回講談社絵本賞受賞／ JBBY オナーリスト）（以上、童心社）、『ふしぎなともだち』（第 20 回日本絵本賞大賞受賞／くもん出版）ほか多数。兵庫県淡路島市在住。

基調報告 子どもの『読みたい気持ち』を呼び起こせ
代田知子 一般社団法人日本子どもの本研究会会長・三芳町立図書館運営相談員

閉会全体会 7月 28 日（日）14 時 40 分

閉会講演 子どもの本で大切にしたいこと
宇野和美 翻訳家・日本国際児童図書評議会（JBBY）会長・会員

センター棟・カルチャー棟

7月27日（土）	9:00	10:00	12:00	13:20	15:35	16:05	17:35	19:00	20:30
	受付	講座	昼食・休憩	基調報告 / 記念講演（手話通訳つき）	移動・休憩	読書会	夕食・休憩	夜のつどい	終了

センター棟

7月28日（日）	9:00	9:30	14:20	14:40	16:00
	受付	分科会 / 昼食・休憩（分科会ごとに） / 分科会		閉会講演 / 挨拶	終了

National Institution For Youth Education 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」
体験の風をおこそう

期 日 ２０２４年７月２７日（土）・２８日（日） 募集 400 名（18 歳以上）

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 03-3469-2525

参加費 両日参加 4,000 円 宿泊費（食事なし）3,700 円（夕朝昼食付き ） 6,000 円
※ 参加と宿泊は申込が分れています。最終ページ参照
1 日参加 2,500 円 障害介助者は参加費無料です。学生参加費は最終ページ参照

主 催 一般社団法人 日本子どもの本研究会 ホームページ jasclhonken.com

事務所 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 4-4-18-105 03-3992-0362（月・水・金 10 時から 15 時）

大会についてのお問合せ nkodomozenkoku@gmail.com

後援：東京都教育委員会 神奈川県教育委員会 埼玉県教育委員会 千葉県教育委員会 渋谷区 公益社団法人全国学校図書館協議会 公益社団法人日本図書館協会 公益社団法人読書推進運動協議会 公益財団法人文字・活字文化推進機構 一般社団法人日本国際児童図書評議会 一般社団法人日本児童文学者協会 一般社団法人日本児童文芸家協会 一般財団法人文民教育協会子どもの文化研究所 親子読書地域文庫全国連絡会 学校図書館問題研究会 学校図書館を考える全国連絡会 児童図書館研究会 読書のアニマシオン研究会 図書館問題研究会 日本親子読書センター 日本文学教育連盟

講　座　7月27日（土）10:00～12:00

A 子どもの読書環境

これまでの子どもの読書運動に学び、今とこれからを考える

本講座では、長年にわたる優れた活動から学び、子どもの読書環境について深めてきた。子どもの本に広く深くかかわった広瀬恒子元事務局長をはじめ、会員の活動を知り読書環境の今後を考えたい。

B ブックトーク

シナリオで本に光を当てるブックトークを目指して

仙台市図書館ブックトークボランティア「ランプ」　齋藤千里　三浦裕子

仙台市では、市図書館が先導して市内小中全校を対象にブックトークを展開している。市図書館が養成したボランティアグループ「ランプ」による実演からブックトークを学ぶ。

C ブックウェビング

『てぶくろ』を読む　ー ブックウェビングの手法を通して ー

池田茂都枝（元大学非常勤講師）　発表者 岩井圭子

ウクライナ民話『てぶくろ』を採り上げ、本書から「広がる想像力」や「共に生きる」など数項目を設けて、関連する本や情報を収集し、一冊を深め、広げる楽しさを味わう。

参考資料 『てぶくろ』（福音館書店）

D 読書のアニマシオン

詩とあそぶ・詩をまなぶ～「ぼくらの谷川俊太郎」（定員60名）

岩辺泰吏（読書のアニマシオン研究会前代表・元東京都小学校教員）

「生きる」「かっぱ」「朝のリレー」… 谷川俊太郎の詩がいくつも浮かぶことだろう。その詩を楽しみながら、詩のゆたかさ、深さを学ぶ。子どもと分かちあうアニマシオンを提案する。谷川俊太郎の本一冊持参。

E 読書のバリアフリー

「読書バリアフリーはじめの一歩」

野口武悟（専修大学教授・会員）

この講座では、学校や図書館における読書バリアフリーの取組みの一つである「りんごの棚」づくりを例に、棚に並べる資料の種類や収集方法等について具体的に紹介する。

読書会　7月27日（土）16:05～17:35

読書会は、活発な交流のため、取り上げる本を事前に読んでご参加ください。

a 絵本

『寓話に生きた人イソップ
～その人生と13の物語～』
イアン・レンドラー文　パメラ・ザガレンスキー絵
山下愛純訳　化学同人

b 児童文学（中学年）

『がっこうかっぱの生まれた日』
山本悦子作　市居みか絵　童心社

c 児童文学（高学年から）

『雨にシュクラン』
こまつあやこ著　講談社

d ノンフィクション

『ようこそ！富士山測候所へ
～日本のてっぺんで科学の最前線に挑む～』
長谷川敦著　旬報社

e ヤングアダルト

『おにのまつり』
天川栄人著　講談社

f 子どもの本棚

日本子どもの本研究会月刊書評誌「子どもの本棚」
― 特集企画を考える ―

夜のつどい　7月27日（土）19:00～20:30

11 全国ここでこんな活動
全国各地、情報を交換して交流しましょう！ お待ちしています。

12 沖縄の平和を語る
平和の本を持ち寄り、今、できることを語りましょう。

13 紙芝居
見たい、演じたい、作りたい。紙芝居について語ります。

14 多様性を語る
わたしにとってのダイバーシティとバリアフリー。経験と本から。

展示発表

（会員・友誼団体）

小ホール　27日10時から16時

101室　7月27日10時から
7月28日16時

分科会　7月28日（日）9:30～14:20

討論を深め学ぶ会です。

1 絵本・乳幼児と絵本

出会ってほしい絵本―２０２３年出版から―

高山朗子（公共図書館司書・絵本専門士）　後藤文恵（小学校 学校司書）　五十嵐静江（元公共図書館司書）

戦争・地球環境・命の繋がりなど今の社会を映す絵本。日常や自然から生まれてきた絵本。新装、再販された絵本。乳幼児から大人まで、出会ってほしい 2023 年出版の絵本を紹介。絵本について語り合い、秋からの読みきかせの力にしていきたい。

2 小学生と読書

友だちと交流しながら読書の幅を広げる　西川鏡子（東京都公立小学校 教諭）

子どもと本をつなぐわたしたち　岡田治子（東京都公立小学校　学校司書）

友だちと交流しながら本の楽しさを知り、読書の幅を広げて欲しいと考え行った授業実践の報告。また、学校司書として、子どもと本をつなぐためのさまざまな取り組みを紹介する。二つの話題提供を受け、子どもたちと本をつなぐために何ができるか交流したい。

3 中高生の読書

日本のヤングアダルト文学の現在地　きむらともお（書評サイト ハコブネ × ブックス管理人）

ヤングアダルト文学の書き手から　天川栄人（作家）

中高生のために書かれている日本のヤングアダルト文学の魅力から問題点まで、評論と実作それぞれの立場から特質を明らかにしていく話題提供を受け、YA 世代がどんな作品をどう読んでいるかを参加者で情報共有し、手わたし方を共に考えていきたい。

4 特別支援と読書

自己をとらえ、生活の工夫を考える特別支援教室の実践　小池雄逸（東京･公立小学校･特別支援教室担当）

一貫して、子どもの思いや願いを大切に育む特別支援教室での教育活動の試みは、確かな「絵本」との出合いにより、子どもの自己理解の深まりへと繋がった。オンラインの第 53 回大会に続く今回、新たな実践報告を携え、直接対面で参加者と共有し、交流したい。

5 ノンフィクション

「伝記っておもしろい！」の声があふれる学校図書館　大久保のぞみ（東京都公立小中学校　学校司書）

司書と担任教諭の双方で手渡し方の工夫を重ね、子どもたちが意欲的に伝記を読むようになった実践を共有し、参加者と「子どもたちと伝記」について深めたい。今年度改訂の小学校教科書に掲載された伝記も話題にしたい。おすすめのノンフィクションの新刊紹介あり。

6 科学

子どもも大人も、科学あそびを楽しみましょう

瀬間幸子（ともだち文庫・子どもの科学の本研究部会）小林弥生（元放課後支援員・子どもの科学の本研究部会）

科学あそびは、科学の不思議さや楽しさを体験できる。様々なところでの実践報告と参加者の例も含め、どのように楽しみ広げていけるか話し合う。実際に手軽にできる科学あそびを楽しみ、準備や注意点と工夫、関連図書も紹介する。科学の新刊紹介もする。

7 学校図書館

先生 × 学校司書で子どもを見る、知る、育てる

川上健斗（武蔵野市立小学校 司書教諭） 竹ノ下麦（武蔵野市立小学校 学校司書）
永田美穂（横浜市立中学校 国語科教諭） 野々内里子（横浜市立中学校 学校司書）

先生と学校司書が一緒に授業を作ったら…子どもたちの学びがこんなに豊かに広がった！小学校（図書館でのアニマシオン）、中学校（情報リテラシー教育）の実践報告を聞き、具体的な協働のプロセスや先生と学校司書それぞれに求められる役割について、共に学びを深めたい。

8 地域と読書

人と人とがつながりあう地域の読書活動を考える

今村愛子（家庭文庫もりのいえ主宰） 中島進（絵本図書館ネットワーク代表）

学校図書館に長く携わったのち家庭文庫を設立したもりのいえ主宰と、全国の読書ボランティアをつなぐ活動をしている絵本図書館ネットワーク代表の報告を聞く。本を通して地域で子どもと大人が交流する読書活動の進め方や課題について、参加者の意見や報告も交えて考えていきたい。

9 図書館と出版と子どもの本

子どもの声を聞くために

村上雅郁（作家『きみの話を聞かせてくれよ』フレーベル館ほか）
西山利佳（児童文学評論家 青山学院大学コミュニティ人間科学部准教授）

内外にさまざまな困難が渦巻くいま、子どもたちはおそろしい「オオカミ」に囲まれているような状況と言えるかもしれない。若手作家村上雅郁の作品を起点にして、子どもの権利、学校、家族、ジェンダー、平和などなどについて、おおいに対話しよう。

≪参加申込み方法≫

申込み期間　2024 年 6 月 17 日（月）～ 7 月 21 日（日）

できる限り右のＱＲコードから、または当会ホームページからお申込みください。

※ 宿泊については、別途右の宿泊申込 QR コードからお申し込みください。

参加申込

宿泊申込

≪参加申込み手順≫

① 参加申込みフォームを開き、必要事項をチェックし、送信してください。
② 即時、回答のコピーが送信されます。（届かない時はお問い合わせください）
③ 1 週間以内に参加費を下記の ゆうちょ銀行（大会専用）に払込みしてください。
※最終払込日は 7 月 23 日（火）です。
④ 払込み確認後、「申込み手続き完了」メールが送信されます。

≪必ずご確認ください≫

・学生（社会人学生を除く）は参加費無料ですが、フォームから申込みが必要です。
・各催しは先着順です。定員になり次第締め切りとなります。申込み手続き完了メールでご確認ください。
・申込み手続き完了メールが 1 週間待っても届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
・払込票でお申込みの方は 10 日以内に受講はがきをお送りします。
・キャンセルの場合は返金できません。代理受講をお勧めします。
・宿泊申込みは 7 月 10 日（水）まで。定員になり次第締め切りとなります。（食事付き、食事なしを選ぶことができます。）
・ご不明な点がありましたらお気軽に下記問い合わせ先までご連絡ください。

払込み先　名義　一般社団法人　日本子どもの本研究会
払込み人氏名前に　ゼンコクとお付けください　　ゼンコク○○○○
ゆうちょ銀行から　００１５０－６－３２５３５５
他銀行から　　ゆうちょ銀行（９９００）〇一九（ゼロイチキュウ）店　当座　０３２５３５５

この活動では、子どもゆめ基金への報告のため写真撮影を行います。撮影した写真、映像などは広報用にＨＰや刊行物に掲載することがありますのでご了承ください。なお、子どもゆめ基金へ提出した個人情報・写真は「（独）国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の管理に関する規定」に基づき、目的以外には使用されません。

《問い合わせ先》第 56 回日本子どもの本研究会全国大会実行委員会　nkodomozenkoku@gmail.com　　080-6661-7859